

新農業水利システム保全整備事業 の と が わ 能登川地区

地区概要

所在地：東近江市
 主要工事：水管理施設更新 1式
 工事内容：

- 水管理施設の更新整備 1式
 機器更新に併せ制御方式・伝送速度を変更
 - ・親局(中央管理所)
 - ・子局(9分水工)
 - ・孫局(4分水工)

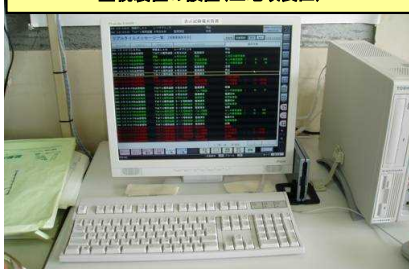
○幹線送水路バルブ更新
 10ヶ所

総事業費：292百万円
 工期：平成18年度～平成19年度

流量計の設置(子局)



監視装置の設置(土地改良区)



計画図

計画位置図 S=1/15,000



受益面積579ha

事業目的

完成後20年以上経過し、老朽化が進行し制御関連機器類の修理が困難な状況となっている当地区水管理施設について、安定的な用水供給が可能となるよう再整備を図る。

水管理施設(中央管理所)



実施後

事業の効果

今回の水管理施設の更新整備に伴い、各分水工での用水配分の制御方式を変更したことで、分水工毎での用水配分の自動制御が可能となった。このことから、末端ほ場の営農状況に応じた効率的で公平な用水配分が可能となり、各ほ場での水管理および揚水機場のポンプ運転操作、分水工用水配分に係る省力化を図ることができた。

受益者等の意見

- ・分水工の制御方式を変更したことにより、末端の圧力確保が可能となり、公平な用水供給が容易になった。
- ・新たに土地改良区に設置した監視装置により、状況把握が容易となり、問合せ等への対応が迅速となった。

今後の課題

送水管路の大部分に耐用年数が経過している石綿セメント管が使用されており、漏水事故時の復旧対応には時間を要することから、今後、計画的な更新整備が必要。

実施前

